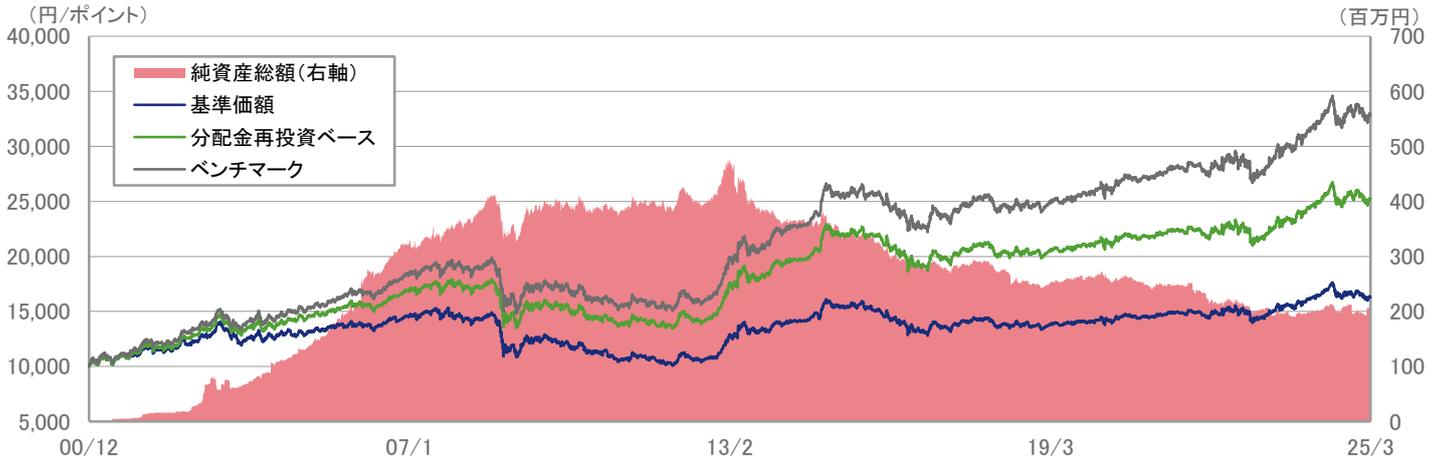


■ 基準価額・純資産総額の設定来推移



※1 分配金再投資ベースは分配金(課税前)を再投資したものと計算しており、分配金があった場合は実際の基準価額とは異なります。
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに値は異なります。
※2 ベンチマークの設定来推移は、設定日を10,000として指数化したものです。
※3 上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

■ 設定来の運用実績

	基準価額 (分配金再投資)		ベンチマーク (FTSE世界国債インデックス(除く日本、当社円換算ベース))		差異 ①-② (%)
	(円)	①騰落率(%)	(ポイント)	②騰落率(%)	
当月末	25,150	-	150,538	-	-
過去1カ月	24,894	1.03	149,193	0.90	0.13
過去3カ月	26,019	-3.34	155,151	-2.97	-0.37
過去6カ月	24,820	1.33	147,442	2.10	-0.77
過去1年	24,982	0.67	148,026	1.70	-1.02
過去3年	22,412	12.22	129,775	16.00	-3.78
設定日来	10,000	151.50	45,871	228.18	-76.68

※1 基準価額騰落率(分配金再投資)は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金(課税前)を再投資した場合の騰落率です。
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに騰落率は異なります。
※2 基準価額騰落率は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

■ 基準価額と純資産総額

	当月末	前月末	前月末比
基準価額 (円)	16,300	16,134	+166
純資産総額 (百万円)	208	193	+15

※ 月中に分配があった場合の基準日の基準価額は、分配金込みです。

	基準価額 (円)	日付
設定来高値	17,666	2024年7月11日
設定来安値	10,000	2000年12月22日

※1 基準価額は信託報酬等控除後で算出されます。
※2 設定来高値及び設定来安値は分配落ち後の基準価額で、該当した日付が複数日ある場合には、その初日を表示しております。

■ 運用資産構成比率

ファンド	比率(%)
外国債券	98.0
短期資産等	2.0
合計	100.0

※1 比率はベビーファンドの実質組入比率(純資産総額比)です。
※2 短期資産等には、コール、CD、CP、現先、未収金、未払金等が含まれます。

■ 分配実績

決算年月日	分配金 (課税前) (円)
2024/10/16	310
2023/10/16	130
2022/10/17	0
2021/10/18	0
2020/10/16	40
2019/10/16	100
設定来合計	5,699

※ 1万口当たりの実績です。

■ 運用概況

当月末の基準価額は、16,300円(前月比+166円)となりました。
また、税引き前分配金を再投資した場合の月間騰落率は+1.03%となり、ベンチマークの月間騰落率は+0.90%となりました。

<運用担当者のコメント>

■ 3月の市場動向と運用状況

当月のパフォーマンス推移



※ 上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

<参考/基準価額の要因分解>

	(単位:円)	(単位:%)
	基準価額	月次騰落率
2025年3月31日	16,300	-
2025年2月28日	16,134	-
増減	166	1.03
債券要因	-51	-0.32
キャピタル	-101	-0.62
うち現物	(-101)	(-0.62)
うち先物	(-)	(-)
インカム	50	0.31
為替要因	236	1.46
小計	185	1.15
その他要因	-19	-0.12
要因合計	166	1.03

※ 上記の要因分解は、主要項目別に寄与度を概算した参考値です。
※ 月中に分配があった場合の基準日の基準価額は、分配金込みです。

市場動向

米国金利は、月前半は、予想対比軟調な景況感指標やトランプ大統領の一時的な景気減速を容認する旨の発言を背景に低下する場面もあったものの、欧州における防衛・インフラ支出拡大期待を受けた欧州金利の上昇に加え、カナダからの鉄鋼やアルミニウムに対する追加関税回避を受けた景気減速への警戒感後退を背景に上昇しました。月後半は、予想対比堅調な景況感指標を受けて上昇する場面もあったものの、3月米連邦公開市場委員会(以下「FOMC」という)およびパウエル議長会見において関税の影響は一時的との経済見通しが示されたことや量的引き締め(QT)減速がアナウンスされたことに加え、軟調な個人消費および4月上旬の相互関税発動を前にした警戒感の高まりを背景に低下し、月間では横ばい圏で推移しました。独国金利は、月前半は、ドイツ連邦議会選挙で勝利したキリスト教民主・社会同盟と社会民主党が防衛・インフラ投資強化のための大規模財政支出に合意したとの報道や、欧州連合(以下「EU」という)が欧州全体の防衛強化に向けた財政支出案を提案したとの報道を受けて上昇しました。月後半は、ドイツにおける大規模財政支出が上下両院で可決されたことを受けた不透明感の解消や、4月上旬の相互関税発動を前にした警戒感の高まりを背景に低下し、月間では上昇しました。為替については、ドルは月前半、国内長期金利の上昇に加え、米国の景気減速懸念を受けて株式市場が軟調に推移したことを背景に円高・ドル安となりました。月後半は、米国株式市場が堅調に推移する場面で円売り優勢となったことや予想対比堅調な米景況感指標を背景に円安・ドル高となり、月間では横ばい圏で推移しました。ユーロは、月前半は、独国長期金利の大幅上昇を背景に円安・ユーロ高となりました。月後半は、欧州株式市場が堅調に推移する場面で円売り優勢となったことを背景に円安・ユーロ高となり、月間でも円安・ユーロ高となりました。

運用担当者のコメントは、受益者向けに投資信託の運用状況を開示するため、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、ウエリントン社)から提供された情報を元に、農林中金全共連アセットマネジメントが作成したものです。ウエリントン社からの情報は、海外市場の月末を基準として提供されており、ファンドの評価基準日とは一日異なります。また、上記コメントは、将来の市場環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

ファンド・レビュー

3月のファンドのパフォーマンスは前月比+1.03%、ベンチマークのパフォーマンスは前月比+0.90%、ファンドのベンチマークに対する相対パフォーマンスは+0.13%となりました。

当ファンドが組入れているマザーファンド(ドルベース)の3月のパフォーマンスをベンチマークと基準を揃えて比較すると、ファンドのパフォーマンスは以下の要因から、ベンチマークを上回りました。

■(-) デュレーション戦略は小幅なマイナス寄与となりました。短期的には米国の相互関税によりユーロ圏の経済成長が下振れると見て、独国内中期国債をオーバーウェイトとしたことはマイナスに寄与しました。独国内利は、国防費増強やインフラ投資のためドイツが「債務ブレーキ」を緩和し、財政政策を転換したことから大きく上昇しました。

■(-) 通貨戦略は小幅なマイナス寄与となりました。景気減速を受けた中央銀行の緩和姿勢が重石となると見て、スウェーデン・クローナを米ドルに対してアンダーウェイトとしたことはマイナスに寄与しました。米国の景気減速懸念を受けて、米連邦準備制度理事会(以下「FRB」という)の利下げ期待が高まり、米国株の下落が続く中、米ドルは対先進国通貨で全面安となり、高ベータ通貨であるスウェーデン・クローナはより大きく上昇しました。

■(-) 国別配分戦略は小幅なマイナス寄与となりました。

■(+) イールドカーブ戦略はプラス寄与となりました。関税政策によって米国への純資金流入の減少が見込まれる中、米国金利は長期ゾーン主導で上昇すると見て、米国の超長期ゾーンをアンダーウェイトしたことは、米国の長期金利が上昇したことを受けてプラスに寄与しました。

■(0) 信用戦略の寄与は中立でした。

■ 今後の市場見通しと運用方針

■ 債券:

【北米】短期的には、米国の経済成長とインフレのトレードオフは、大幅に悪化しています。大半の関税が短中期的に維持されると仮定した場合、インフレ率および市場のボラティリティ(変動性)の持続的な上昇や短中期的な経済成長の著しい悪化、政策の先行き不透明感を受けたネガティブなシグナルが材料となり、景気後退に陥る可能性が高まります。また、金融政策と通商政策は今や構造的に対立しています。関税率と二国間の貿易赤字が連動することは、FRBによる金融政策の有効性が損なわれることにつながる恐れがあります。FOMCでは、特に政策の不確実性が高まっていることから、インフレよりも経済成長への影響を重視すると見込んでいます。しかしながら、インフレ率は関税が課される前から目標を上回る水準で高止まっているため、FRBが予防的な利下げを行うことは困難というジレンマがあります。FRBが利下げを行い、それに応じて内需が改善すれば、貿易赤字が拡大し、関税率がさらに上昇する可能性があります。関税の目的が二国間の貿易赤字の解消であるならば、関税は米国内で景気抑制策として働き、利下げによる需要増の効果を打ち消すこととなります。米国にかかる組織としての信頼性が損なわれると、米ドルの準備通貨としての位置づけを一段と阻害し、世界的な資金流出を変化させる可能性があります。トランプ政権は信頼を失うことにより、過去と比べて各国が交渉に応じなくなるリスクもあります。このリスクは、政府の関税発表を受けて加速しており、一部の関税が撤回されたとしても解消されないと見えています。かかる中、経済的ナショナリズムが強まり、資本の国内回帰の可能性が高まっています。関税の発表は、米国の金融資産から米国以外のグローバル債券への純資金流出を引き起こす、もしくはその動きを加速させ、米国のリスクプレミアム的大幅な上昇や長期金利の上昇につながるでしょう。米国以外では、米国を除く金融資産を押し上げる強力な要因となり、欧州、日本、中国の債券は米国からの資金流出の恩恵を受ける可能性があります。

【ユーロ圏】米国が4月初に発表した関税は、短期的には欧州の経済成長に大きなショックを与えると見えています。発表された20%の関税は想定された税率としては最も高く、経済成長を約0.5~1%押し下げる可能性があります。この場合、通常25~50bpsの追加緩和が必要となることから、市場は欧州中央銀行(以下「ECB」という)がターミナルレート(政策金利の最終到達点)を1.5%まで引き下げると想定する可能性があります。さらに、欧州が米国とのサービス取引を対象に報復措置を行えば、市場は39%への関税引き上げを織り込む必要があるでしょう。ただし、EUは交渉を優先する姿勢を示しており、加盟国との協調や業界団体との議論にも時間を要することから、当面の報復対象は物品に限定されると見えています。しかし、ドイツやフランスを中心に、より大胆なアプローチを推奨する強気の声も挙がっています。また中長期的には、ドイツが発表した財政拡張政策がユーロ圏の見通しに対して強力な構造的追い風になると見えています。保守的に見積もっても、ドイツのGDPを12年間にわたって年1%押し上げ、ユーロ圏のGDPを年0.3%押し上げると見込んでいます。

【英国】英国の労働統計、インフレおよび賃金動向を背景に、政策金利がインフレ目標を達成するほど制約的であるかが疑問視されると見られます。実質経済成長率の弱さがインフレ懸念を緩和している側面があり、実態としては、政策金利の制約度合いは依然不十分であると見えています。イングランド銀行(BOE)と市場は、低成長がいずれインフレ率を低下させるという想定をしてきましたが、その兆しは未だ見られません。消費者が継続的な回復の兆しを示せば、市場は前述の想定を見直すと考えられます。また、経済成長が市場予想を上回れば、低成長が続くといった足元の想定は覆ると見られます。中央銀行の反応関数が高度に不安定であることから、短期債のリスク調整後リターンは魅力的ではありません。しかし、政策当局がスタグレーション(景気後退とインフレ率上昇が同時に生じる)を検討する考えを示す場合、中期的なインフレ期待とリスクプレミアム(リスク相当分の上乗せ金利)の上昇が英国のテーマになる見通しです。

■ 通貨:

【米ドル】米ドルは短期的にレンジ相場を見込んでおり、各通貨のパフォーマンスを左右する固有の要因に着目しつつ、先進国通貨に対するポジションを機動的に調整する方針です。また、新興国通貨の中では、米ドルに対する中国人民元の弱気見通しを維持します。

【ユーロ】米国が4月初に発表した関税は、短期的に欧州の経済成長に大きなショックを与えると見えています。発表された20%の関税は想定された税率としては最も高く、経済成長を約0.5~1%押し下げる可能性があります。この場合、通常25~50bpsの追加緩和が必要となることから、市場はECBがターミナルレート(政策金利の最終到達点)を1.5%まで引き下げると想定する可能性があります。

【英ポンド】英国の労働統計、インフレおよび賃金動向を背景に、政策金利がインフレ目標を達成するほど制約的であるかが疑問視されると見られます。政策当局がスタグレーションを想定する場合、中期的なインフレ期待とリスクプレミアムの上昇が英国のテーマになる見込みです。こうした中、英ポンドはポジティブな見方から機動的にオーバーウェイトとする方針です。

■こうした中、デュレーション戦略では、米国国債と英国国債をアンダーウェイトとします。ユーロ圏では、ユーロ圏国債のポジションを機動的に調整します。一方、一部の小国開放経済(オーストラリア、ニュージーランド)の国債をオーバーウェイトとします。また、物価連動国債を選別的に保有します。通貨戦略では、豪ドルやニュージーランド・ドルを米ドルに対してオーバーウェイトとする一方、スイス・フランは中期的に弱気見通しとします。新興国通貨の中では、引き続き中国人民元に対して弱気見通しです。信用戦略では、高格付けかつ高利回りの短期債や前向きな材料が未だ市場価格に反映されていないような発行体を選択します。

※運用担当者のコメントは3月末時点のものです。また、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

運用担当者のコメントは、受益者向けに投資信託の運用状況を開示するため、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、ウエリントン社)から提供された情報を元に、農林中金共連アセットマネジメントが作成したものです。ウエリントン社からの情報は、海外市場の月末を基準として提供されており、ファンドの評価基準日とは一日異なります。また、上記コメントは、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

<マザーファンドの運用状況>

■ 国別組入比率とデュレーション

国名	① 組入比率 (%)		② 修正デュレーション(年)	
	ファンド	ベンチマーク	ファンド	ベンチマーク
米国	42.6	47.5	4.90	5.82
カナダ	11.4	1.9	2.64	6.84
イギリス	3.5	5.3	7.77	8.79
ユーロ	23.6	29.4	7.27	6.99
ドイツ	2.9	5.6	3.78	7.07
フランス	5.8	7.3	7.58	7.04
アイルランド	0.3	0.5	10.79	7.55
イタリア	5.8	6.7	6.50	6.35
オーストリア	0.7	1.1	11.73	8.21
オランダ	1.7	1.3	7.79	8.07
スペイン	3.3	4.4	8.74	6.64
フィンランド	0.4	0.5	8.87	7.26
ベルギー	1.2	1.5	9.57	8.35
ポルトガル	1.0	0.6	8.62	6.69
ギリシャ	0.4	-	16.51	-
スウェーデン	1.5	0.2	4.79	5.44
ポーランド	0.2	0.6	6.55	3.72
デンマーク	0.2	0.2	11.26	8.62
ノルウェー	0.2	0.2	5.93	5.78
オーストラリア	2.6	1.2	10.87	6.25
シンガポール	0.2	0.4	6.88	8.22
マレーシア	-	0.5	-	7.45
メキシコ	1.1	0.7	5.15	5.00
イスラエル	-	0.3	-	6.41
中国	8.8	11.3	6.73	5.76
ニュージーランド	1.2	0.3	10.03	6.18
その他の国	1.1	-	6.51	-
債券合計	98.1	100.0	5.73	6.35
その他	1.9	-	-	-
合計	100.0	100.0	-	-

※ 比率は純資産総額対比です。

■ 通貨別組入比率

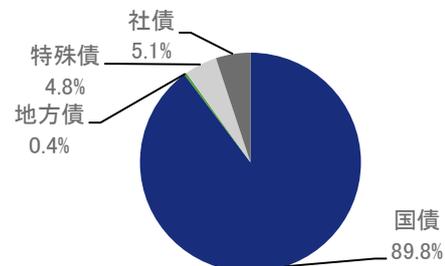
通貨	ファンド	ベンチマーク	差
米ドル	46.6	47.5	-0.9
ユーロ	29.2	28.8	0.4
英ポンド	5.8	5.3	0.5
カナダドル	1.8	1.9	-0.1
その他(円除く)	15.6	16.5	-1.0
合計	99.0	100.0	-1.0

※ 比率は純資産総額対比です。

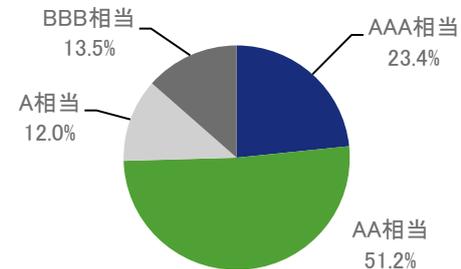
■ 保有債券の属性

	ファンド	ベンチマーク	差
平均利回り(%)	3.57	3.51	0.06
平均クーポン(%)	3.13	2.75	0.38
平均残存期間(年)	7.95	8.96	-1.02
修正デュレーション(年)	5.73	6.35	-0.61

■ セクター別組入比率



■ 格付別組入比率



※1 比率は外国債券現物対比です。

※2 格付けは、原則としてS&P社、Moody's社のうち低位のものを採用しています。

■ 組入上位10銘柄

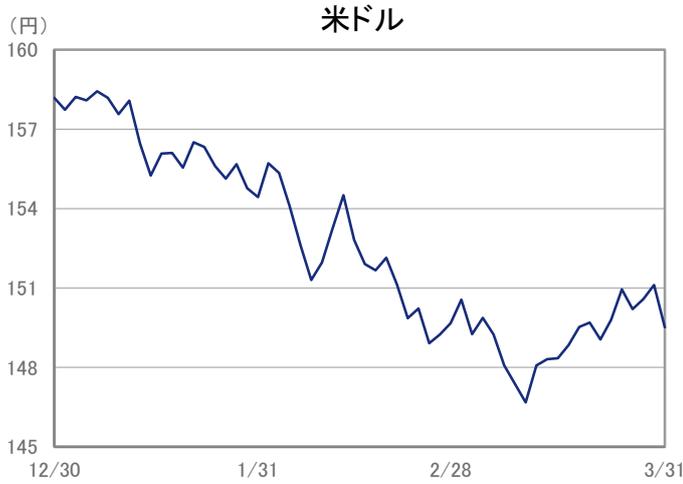
順位	銘柄名	国名	通貨	クーポン(%)	償還日	組入比率(%)	分類
1	T-NOTE 4.375 270715	アメリカ	米ドル	4.375	2027/7/15	9.7	国債
2	T-NOTE 4.5 290531	アメリカ	米ドル	4.500	2029/5/31	8.9	国債
3	CGB 2.55 281015	中国	中国人民元	2.550	2028/10/15	5.5	国債
4	T-NOTE 3.5 300131	アメリカ	米ドル	3.500	2030/1/31	3.3	国債
5	T-NOTE 4.125 310331	アメリカ	米ドル	4.125	2031/3/31	2.8	国債
6	T-BOND 1.75 410815	アメリカ	米ドル	1.750	2041/8/15	2.6	国債
7	CTB 0 250522	カナダ	カナダドル	0.000	2025/5/22	2.5	国債
8	T-NOTE 4.125 271115	アメリカ	米ドル	4.125	2027/11/15	2.4	国債
9	CTB 0 250424	カナダ	カナダドル	0.000	2025/4/24	2.4	国債
10	CGB 2.35 340225	中国	中国人民元	2.350	2034/2/25	2.1	国債

※ 比率は外国債券現物対比です。

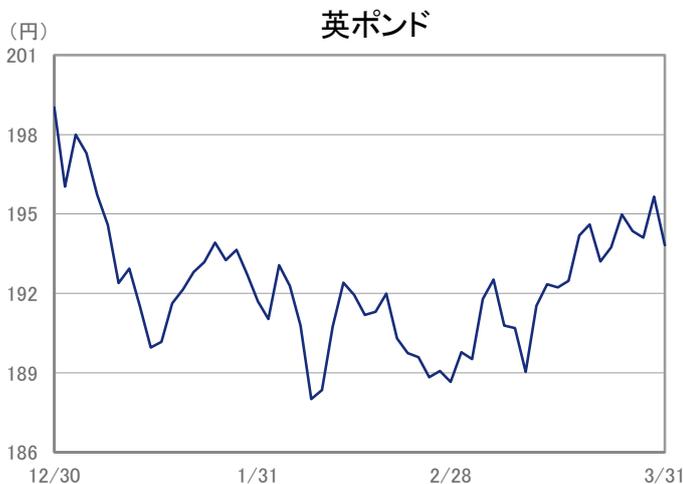
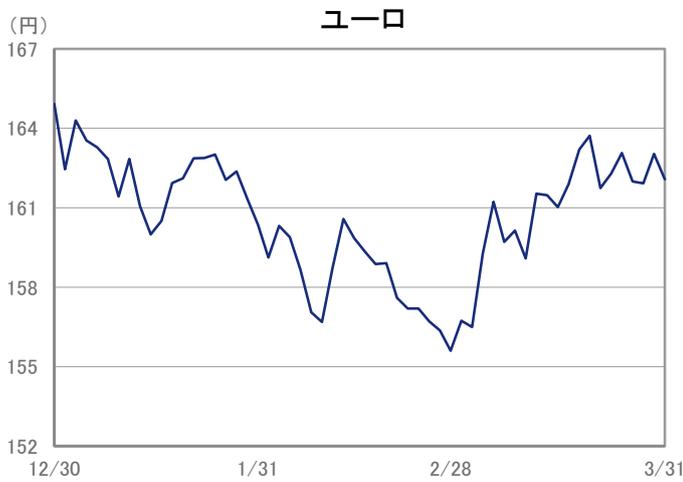
組入銘柄数: 130銘柄

<参考>市場動向(マーケット指標の推移)

■ 為替相場



■ 債券市場



当ファンドは、公社債などの値動きを生じる証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は日々変動します。従って元金が保証されるものではありません。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくことになります。当資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。投資信託は貯金(預金)保険制度の対象ではありません。当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

商品の特色

- 当ファンドは、JA海外債券マザーファンドを主要投資対象とし、マザーファンドを通じて、日本を除く世界各国の公社債を中心に投資を行います。
- マザーファンドの運用にあたっては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー、ウエリントン・マネージメント香港リミテッドおよびウエリントン・マネージメント・インターナショナル・リミテッドに外貨建資産の運用および為替取引の指図に関する権限を委託します。
- 当社が円ベースに換算したFTSE世界国債インデックス(除く日本)をベンチマークとし、ファンダメンタルズ分析と計量分析を併用した手法により運用を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ポートフォリオ全体の平均格付(保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したもの)は、原則としてA格以上を維持することとします。外貨建資産については、原則として対円為替ヘッジは行いません。

■ お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	販売会社の指定する日までにお支払いください。
換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を差し引いた価額となります。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目から支払いを行います。
申込締切時間	原則として、購入・換金の申込みに係る、販売会社所定の事務手続きが午後3時30分までに完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。
申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日には、購入・換金の申込受付を行いません。(詳しくは、販売会社または委託会社にお問い合わせください。)
換金制限	信託財産の資産管理を円滑に行うために大口の換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止等により購入・換金の申込受付が中止または取消しとなることがあります。
信託期間	無期限(設定日:2000年12月22日)
繰上償還	受益権の総口数が5億口を下回った場合などには、繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年10月16日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎年10月の決算時に分配を行います。販売会社との契約によっては、税引き後、無手数料で再投資が可能です。(年1回)
信託金の限度額	1兆円を限度とします。
公告	委託会社が投資者(受益者)に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	毎年10月の決算時及び償還後に交付運用報告書を作成し、販売会社より知れている投資者(受益者)に対して交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」の適用対象となります。当ファンドは、NISAの対象外です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。なお、税制が改正された場合等には変更される場合があります。

※確定拠出年金制度に基づく申込の場合は、取扱いが一部異なる場合があります。

※ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

■ 委託会社、その他の関係法人

- 委託会社 : 農林中金共連アセットマネジメント株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第372号 一般社団法人 投資信託協会会員/一般社団法人 日本投資顧問業協会会員)
信託財産の運用指図、目論見書および運用報告書の作成等を行います。
: ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー、ウエリントン・マネージメント香港リミテッドおよびウエリントン・マネージメント・インターナショナル・リミテッド(投資顧問会社)
当ファンドの直接の関係法人ではありませんが、委託会社よりJA海外債券マザーファンドにおける外貨建資産の運用および為替取引の指図に関する権限の委託を受けて投資判断・発注等を行います。
- 受託会社 : 三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本マスタートラスト信託銀行株式会社)
追加信託に係る振替機関への通知等、信託財産の保管・管理・計算等を行います。
- 販売会社 : 最終ページをご覧ください。
ファンドの募集の取扱い・販売、目論見書・運用報告書の交付、一部解約の請求の受付、収益分配金、償還金および一部解約金の支払い等を行います。

主なリスクと費用

下記の事項は、この投資信託(以下、「当ファンド」という。)をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みください。

■ 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、主に日本を除く世界各国の公社債を実質的な投資対象としますので、海外金利の上昇による組入公社債の価格の下落や、組入公社債の発行会社等の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「金利変動リスク」「為替変動リスク」「信用リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

■ 当ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	<p><通常の申込> 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が個別に定める手数料率を乗じた額です。ご購入時の手数料率の上限は1.65%(税抜1.5%)です。</p> <p><確定拠出年金制度に基づく申込> 無手数料</p>
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.20%を乗じた額を、換金時にご負担いただきます。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用(信託報酬)	毎日、純資産総額に年1.32%(税抜1.20%)を乗じた額を計上します。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日及び毎計算期間末または信託終了のとき信託財産中から支払われます。
その他の費用・手数料	<p>監査費用は、毎日、純資産総額に年0.0033%(税抜0.003%)を乗じた額を計上します。毎計算期間末または信託終了のとき信託財産中から支払われます。</p> <p>有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等は、その都度信託財産中から支払われます。</p> <p>※運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。</p>

※ファンドの費用の合計額は、投資者の皆様がファンドを保有する期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

留意事項

- 当資料は、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(以下、「当社」といいます。)が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料は当社が信頼できると判断したデータ等により作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。市場環境等の見直しにつきましても、その確実性を保証するものではありません。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。
- 当ファンドは、公社債などの値動きの生じる証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は日々変動します。したがって、元金および収益分配が保証されるものではなく、投資元本を割り込むことがあります。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくこととなります。
- 投資信託は預貯金や保険商品とは異なり、預金(貯金)保険機構、保険契約者保護機構の保護対象ではありません。投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。
- ご購入の際は、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受取りいただき、詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断いただきますようお願いいたします。
- FTSE世界国債インデックス(除く日本・当社円換算ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックス、FTSE世界国債インデックス(米ドルベース)をもとに、FTSE Fixed Income LLCの承諾を得たうえで、当社が独自に円換算したものです。

取扱い販売会社情報一覧表

※ 販売会社は今後変更となる場合、また、下記以外にもお取り扱いを行っている販売会社がある場合があります。
また、販売会社によっては、新規のお申し込みを停止している場合もあります。
詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品取引業協会	備考
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○	
JAバンク (JA/信連/農林中金)	お取り扱いについては、委託会社（農林中金全共連アセットマネジメント株式会社）までお問い合わせください。 (注) 一部のJAバンクでは、お取り扱いがない場合がございます。					

販売会社等につきましては、以下の照会先までお問い合わせください。

■ 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

ホームページ: <https://www.ja-asset.co.jp/>

フリーダイヤル: 0120-439-244 (受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)

お申し込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は販売会社へお申し出ください。